2027年度

経済学部第3年次編入学
（第２次）
学 生 募 集 要 項

2026年10月

香　川　大　学

目　　次

Ⅰ　入学者の受入方針 …… 1

Ⅱ　募　集　人　員 …… 4

Ⅲ　編入学の時期及び編入学年次 …… 4

Ⅳ　出願について
1．出願資格及び要件 …… 4
2．出　願　手　続 …… 5
〔1〕出　願　期　間 …… 5
〔2〕出　願　方　法 …… 5
〔3〕出願書類等提出先 …… 5
〔4〕出願書類等 …… 6
〔5〕出願上の注意事項 …… 7
3．選抜方法等 …… 7
4．試験の日時及び場所等 …… 8
〔1〕試験の日時 …… 8
〔2〕試験の場所 …… 8
〔3〕受験上の注意事項 …… 8
5．合格者発表 …… 8
6．入　学　手　続 …… 9
7．個人情報の取扱いについて …… 10
8．障害等のある入学志願者との事前相談について …… 10
9．編入後の履修について …… 11
10．ノートパソコンの必携について …… 11

Ⅴ　入試情報の開示について
1．入学者選抜試験における個人成績等の開示 …… 12
2．入試問題の閲覧 …… 13

Ⅵ　試験場案内図
1．香川大学試験場案内図 …… 14
2．香川大学建物配置図 …… 15

Ⅰ　入学者の受入方針

香川大学は，「世界水準の教育研究活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

経済学部の具体的な入学者の受入方針は次のとおりです。

経　済　学　部

１．教育理念

香川大学経済学部は，経済や経営に関する世界水準の研究教育活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念とします。学士課程では，豊かな人間性と高い倫理性の上に，幅広い基礎力と経済や経営に関する専門知識や多様な価値や文化に対する深い理解に支えられた課題探求能力を備え，国際的な視野で地域社会において活躍できる進取の気象と共生の精神に富んだ教養豊かな経済人を育成することを目指します。

２．教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし，多様な価値や文化に対する深い理解を背景として，国内外で活躍できる力を身につけます。

【専門分野に対する優れた能力】

経済の仕組み，企業の活動，世界の社会・歴史などに関するさまざまな現象から，自ら課題を発見し，それを探求・解決するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには実務的な処理能力を兼ね備えている必要があります。理論と応用が有機的に結合した実行力を身につけます。

【経済人としての幅広い視野】

現代社会が求める経済人は，柔軟な視野にたち，コミュニケーション能力を備え，社会と積極的にかかわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち，多様な価値観を理解できるようにします。

【情報を分析し発信する能力】

今日の社会は複雑化した経済情報，国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な情報を迅速かつ的確に収集し，分析する能力を身につけるだけでなく，自ら情報を発信する力を身につけます。

３．教育内容

経済学部学生が学ぶ授業科目は，「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は，主に１年次の全学学生を対象に開設される教養教育科目です。学部での専門教育を受けるために必要な基礎的学力や学習の方法，他の分野の幅広い知識や考え方を身につけます。

「学部開設科目」は，学部学生を対象に開設する授業科目です。学部開設科目は，課題探求能力や実務処理能力を身につけるための科目であり，各専門分野を体系的に学べるように授業科目を用意しています。学部教育の根幹科目として，３年次履修の「演習」及び４年次履修の「卒業論文」を必修科目としています。

また入学後に，各学生は自分の興味・関心・適性，将来の進路等を考慮して，以下の５コースのうちからどれか一つを選択し，より専門性を深めるための科目を中心に学んでいきます。

【経済・政策分析コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し，複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で，人びとの幸福の達成に向けて，経済のメカニズムを分析し，日本経済及び世界経済の課題やそれに対する政策の検討を行います。さらには，提言を行うための課題探求・解決力，コミュニケーション力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

公務員，自治体･企業の調査分析部門

【会計・ファイナンスコース】

（学修する内容と身に付ける力）

財務会計，管理会計，会計監査等の会計学分野について，主に企業行動を対象に段階的かつ網羅的に学ぶことで会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力を身につけます。また，金融論，保険論及び財政学の分野について，政府の政策や企業行動を対象として学修することで，ファイナンス領域に関する深い理解力と洞察力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

金融機関，企業における経理部門・財務部門，会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁（国税庁など）

【経営・イノベーションコース】

（学修する内容と身に付ける力）

戦略と組織，マーケティング，イノベーション，企業の社会的責任など，経営学に関わる幅広い内容を学修します。また，ビジネスの視点から問題解決にあたり，新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力，課題探求・解決能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

民間企業（製造，卸・小売業），官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務，起業

【観光・地域振興コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済学・経営学をベースに，観光学，地域活性化論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに，観光に必要な調査法やフィールドワークにより，地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

公務員（観光振興，地域振興），公益法人等（JA，生協，商工会議所），観光業，地場産業等の企業

【グローバル社会経済コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため，経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修します。その上で，世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

国内外の企業（国際部門など），公益法人（JICA など），NGO，新聞社などのメディア

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊経済の仕組み，企業の活動，世界の社会・歴史などに関する専門性の高い学問を学び，研究活動を実践するための，高等学校等における幅広い学習に基づいた知識・技能・理解能力

②思考力・判断力・表現力

＊経済・社会におけるさまざまな現象において，解決を必要としている問題を発見・探求し，自分の考えを論理的にまとめて，他者にわかりやすく伝える思考力・判断力・表現力

＊情報伝達の高度化・迅速化が進む社会において，必要な情報を収集・分析し，自ら情報を発信することができる能力

③主体性・多様性・協働性

＊柔軟な視野にたって社会と積極的にかかわり，コミュニケーション能力を備え，多様な価値観を理解できる主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊経済・社会に関するさまざまな現象に興味を持ち，従来の考え方にとらわれず積極的に新しい物事に取り組んでいこうとする関心・意欲・態度

⑤倫理観・社会的責任

＊グローバル化する社会において，地域に根ざしながら世界と連携し共生するために，自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観を理解し体現する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において学ぶ，英語，数学，国語を中心とした基礎学力を身につけていることが必要です。英語の基礎学力は，大学において，国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は，数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は，講義やゼミナールで文献を読んだり，レポートを書いたり，自分の意見を発表するために必要です。また経済・社会に対する関心を高め，論理的思考力を養うために普段から新聞を読んだり，読書習慣を身につけたりすることも重要です。さらに主体性・多様性・協働性を養うために，文化活動，スポーツ活動，生徒会活動，クラブ活動，海外留学体験，ボランティア活動などに励むことも推奨します。加えて，国際的なコミュニケーション能力を養ったり，数学的な能力を培ったり，実務的な処理能力や教養を高めたりするために，英語検定，数学検定，簿記検定，漢字検定などの検定や資格の取得に励むことも推奨します。

５．入学者選抜の基本方針

編入学生は編入後すぐに演習や専門科目を履修する必要があることから，自分の意見を論理的かつ説得的に述べる能力に加えて，経済や経営，各国の社会等についての基礎的な知識を修得しているかどうか，さらに積極的かつ主体的に専門的知識を学ぶ意欲を持っているかどうかを英語，小論文と面接で評価します。英語では，大学２年生程度の語学力を想定した，英語会話や英語文書を解釈する知識・技能を評価します。小論文では，思考力・判断力・表現力や経済・社会等に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と，自分の考えを他者に伝えるために，文章を論理的に構成し，かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。面接では，思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性，経済・社会に対する関心・意欲・態度，自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観への理解を評価します。特に出願書類に基づいて質問し，的確な応答をしているか，発言に説得力があり分かり易いか，社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。なお，面接内容には，専門的素養を含みます。

Ⅱ　募集人員

経済学科（昼間コース）　　若干人

Ⅲ　編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は，2027 年４月１日とし，第３年次に編入とします。

Ⅳ　出願について

１．出願資格及び要件

編入学を志願することのできる者は，次のいずれかに該当する者です。

⑴　大学又は専門職大学を卒業した者及び 2027 年３月までに卒業見込みの者

⑵　学校教育法第 104 条第７項の規定により学士の学位を授与された者及び 2027 年３月までに授与される見込みの者

⑶　短期大学，専門職短期大学，高等専門学校，旧国立工業教員養成所又は旧国立養護教諭養成所を卒業した者及び 2027 年３月卒業見込みの者

⑷　学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）附則第７条に定める従前の規定による高等学校，専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し，又は卒業した者

⑸　学校教育法第 58 条の２に定める高等学校の専攻科の課程を修了した者及び 2027 年３月までに修了見込みの者

⑹　学校教育法第 70 条第１項に定める中等教育学校の後期課程の専攻科の課程を修了した者及び 2027 年３月までに修了見込みの者

⑺　学校教育法第 82 条に定める特別支援学校の専攻科の課程を修了した者及び 2027 年３月までに修了見込みの者

⑻　学校教育法第 132 条に定める専修学校の専門課程（修業年限が２年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上又は 62 単位以上であること。）を修了した者及び 2027 年３月までに修了見込みの者（学校教育法第 90 条第１項に規定する者に限る。）

⑼　他の大学又は専門職大学に２年以上在学（休学期間を除く。2027 年３月までに２年以上在学となる者を含む。）し，当該大学において 62 単位以上を修得（見込みを含む。）した者。なお，2027 年３月までに所定の要件を満たす見込みで受験した者が所定の要件を満たさなかった場合は，入学手続きを完了した場合であっても，入学を許可しません。また，退学していない場合も，（二重在籍となるため）入学を許可しません。

⑽　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者及び 2027 年３月修了見込みの者

⑾　外国において，学校教育における 14 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び 2027 年３月までに修了見込みの者。外国人留学生の場合は，独立行政法人　日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」を受験していなければなりません。ただし，日本留学試験が実施されない国において受験する場合には，上記試験に代えて公益財団法人　日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験（N１）を受験してください。なお，日本留学試験の「日本語」については 250 点程度以上の成績（記述の成績は含みません。），また，日本語能力試験（Ｎ１）については合格していることが望まれます。

⑿　外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び2027年３月までに修了見込みの者（学校教育法第90条第１項に規定する者に限る。）

２．出 願 手 続

〔１〕出 願 期 間

2026年11月24日（火）から2026年11月30日（月）

〔２〕出 願 方 法

編入学志願者は，〔４〕の出願書類等を取りそろえ，検定料を払い込み，「封筒貼付用あて名シート」を印刷し，角形２号封筒（240mm×332mm）に貼り付け，必要事項を記入の上封入し，郵送してください。

〔３〕の出願書類等提出先に，**出願期間最終日の17時までに必着（郵送期間を十分考慮してください。）するよう，必ず「簡易書留・速達」で郵送してください。**ただし，郵送で出願期間最終日の 17時を過ぎて着いた場合は，11 月 28 日（土）までの消印があり，かつ「簡易書留・速達」であるものに限り受け付けます。

出願期間最終日の９時～17 時に限り，出願書類の持参を認めます。受付場所は〔３〕の出願書類等提出先です。

〔３〕出願書類等提出先

香川大学教務課学務第二係（経済学部担当）
〒760-8523　香川県高松市幸町２番１号
TEL（087）832-1813（直通）

〔４〕出願書類等

次の①～⑪（⑪は該当者のみ）の出願書類等を取りそろえ，〔２〕の出願方法により提出してください。

	出願書類等	注意事項
①	入　学　願　書	本学所定の用紙により作成してください。
②	受　験　票	本学所定の用紙（受験票）に必要事項を記入してください。
③	写　真　票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 出願以前６か月以内に撮影した写真（縦４㎝×横３㎝，上半身，無帽，正面向き）の裏面に氏名を記入し，写真票に貼付してください。写真に加工・修正を施したものは認めません。
④	志望理由書	本学所定の用紙により作成してください。志願者本人が日本語により直筆で記入してください。(800 字以内)
⑤	最終学校の卒業（修了）証明書等	《出願資格(1)(3)(4)(5)(6)(7)(10)(11)(12)に該当する者》 出身学校所定の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書を提出してください。 《出願資格(2)に該当する者》 学位記の写し又は大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書(授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書)を提出してください。 《大学院を修了した者》 提出書類について，事前に本学部へ問い合わせてください。 《出願資格(8)に該当する者》 本学所定の専修学校専門課程修了等証明書を提出してください。 《出願資格(9)に該当する者》 本学所定の在学期間等証明書を提出してください。
⑥	最終学校の成績証明書等(出身学校長が作成し厳封したもの)	修得単位数が明記された成績証明書。 ただし，外国の大学（学校）を修了した（修了見込みを含む。）者については，本学所定の TRANSCRIPT OF RECORD により作成してください。
⑦	検定料 30,000 円	編入学願書，「振込依頼書（入金票)」及び「領収書」に必要事項を記入の上，下記の期間内に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で所定の検定料を振り込んでください（ATM は利用できません。また，振込手数料は振込人負担です。）その際，**必ず編入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。** (注) 通常，金融機関の窓口取扱時間は，平日の 15 時までです。また，土曜日，日曜日及び祝日は休業となりますので注意してください。 〇振込受付期間 2026 年 11 月 17 日（火）～2026 年 11 月 30 日（月）
⑧	受験票等送付用封筒	「受験票等送付用住所記載シート」を印刷し，長形３号封筒（120㎜×235㎜）に貼り付けた上で，志願者の住所（日本国内の住所に限る。），氏名及び郵便番号を明記し，410 円分の郵便切手を貼付してください。
⑨	あて名票	本学所定の用紙に，志願者の氏名，住所，郵便番号及び電話番号を記入してください。
⑩	TOEIC スコア	2026 年 11 月 30 日（月）17 時までに，TOEIC 申込サイトから，香川大学経済学部の申請コード（00023904）を入力し，提出を希望する TOEIC 公開テストのスコアを選択し提出してください。(Listening & Reading Test に限ります。原則として 2024 年 11 月 30 日（土）以降に実施されたものとしま

		す。）「公式認定証」によるスコアの提出は受け付けませんので，必ず下記のTOEIC申込サイトから提出してください。 TOEIC申込サイトURL https://ms.toeic.or.jp/Usr/Pages/Entry/Login.aspx なお，高等専門学校等における英語カリキュラム制度の一環としている場合に限り，TOEIC－IP（カレッジTOEICを含む）の証明書の原本も認めます。（確認した後に返却します。）この場合，英語カリキュラム制度の一環として受験した事の証明として，そのことが記載してある資料（出身学校等の修学案内，シラバスの写しあるいは年間行事予定表等）が必要です。 また，オンライン試験の受験結果による場合は対象となりません。
⑪	日本留学試験受験票又は日本語能力試験（Ｎ１）受　験　票	出願資格⑾に該当する外国人留学生のみ写しを提出してください。

〔５〕出願上の注意事項

⑴　出願書類等が不備の場合は受理できません。
⑵　出願書類受理後は，書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
⑶　払込済の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。
　①　検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
　②　検定料を誤って二重に払い込んだ場合
　※　上記①又は②に該当される方は，香川大学入試課（TEL（087）832-1182）へご連絡ください。
⑷　編入学願書の氏名と成績証明書・卒業（見込）証明書・修了（見込）証明書の氏名が異なる場合には戸籍抄本を添付してください。

３．選抜方法等

入学者の選抜は，小論文，英語（TOEICのスコア）及び面接を総合して行います。
ただし，本学が課している試験項目のいずれかを受験していない場合は，本学の合格者とはなりません。
また，小論文あるいは面接の点数のどちらか一方でも５割に達していない場合，不合格とします。

（１）配　点

小論文	英語	面接	計
100	100	30	230

（２）小論文　　小論文は，素材となる資料を提示し，その資料について受験者の論述を求めるという形式をとります。評価の観点は，資料を的確に理解し分析できているかという点と，自分の考えを他者に伝えるために，文章を論理的に構成し，かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。素材は，経済・社会に関する分野から選ばれます。

（３）英　語　　英語は筆記試験を行わず，TOEIC（Listening & Reading Test）のスコアを利用します。原則として出願締切日から遡って２年以内に受験したものとします。
利用できるテストはTOEIC公開テストと，大学・短大・高等専門学校における英語カリキュラム制度の一環として行われているTOEIC-IPに限ります。
なお，オンライン試験の受験結果による場合は対象となりません。

（４）面　接　　面接は，個人面接とし，所要時間は 10～20 分程度とします。出願書類に基づいて質問し，的確な応答をしているか，発言に説得力があり分かり易いか，社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。なお，面接内容には，専門的素養を含みます。

４．試験の日時及び場所等

〔１〕試験の日時

月　　日	時　　間	試験内容	注意事項
2026年 12月11日（金）	9:30～11:00	小　論　文	志願者が多数の場合は，12月12日（土）にも面接を実施します。 なお，該当者には，あらかじめ通知します。
	12:00～	面　　接	

〔２〕試験の場所

香川大学経済学部（幸町南キャンパス）（高松市幸町２番１号）

〔３〕受験上の注意事項

⑴　試験当日は，９時00分までに集合してください。
⑵　試験当日は，必ず受験票を持参してください。
　なお，受験票は，入学試験個人成績等開示申請の際に必要ですので，試験終了後も大切に保管しておいてください。
⑶　携帯電話，スマートフォン等電子機器の使用は禁止します。所持している場合は，電源を切っておいてください。使用した場合は不正行為とみなすことがあります。
⑷　不正行為のあった場合は，直ちに退場してもらいます。
　なお，不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
⑸　試験場には自動車で入構できません。

５．合 格 者 発 表

2027年１月22日（金）　午前９時（予定）
合格者の発表は，本学のホームページ上で合格者受験番号を掲載するとともに，合格者には合格通知書を送付します。
なお，電話等による合否の問い合わせには応じません。

香川大学ホームページ　https://www.kagawa-u.ac.jp/

６．入 学 手 続

合格者は，下記期限までに，入学手続を完了してください。

入学手続書類は，「簡易書留・速達」とし，入学手続期限までに教育・学生支援部教育企画課へ送付してください。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には，入学辞退者として取り扱います。

なお，入学手続に関しての詳細は，2027 年１月下旬頃に通知する予定です。

〔１〕入学手続期限

2027年３月15日（月）17時まで（必着）

〔２〕入学手続に必要なもの

入学手続に必要なものは，次のとおりです。

① 本学所定の誓約書　１部

② 本学部に必要な書類

③ 納　付　金

入学料　282,000円(予定)

授業料(前期分)　267,900 円(予定)
(年　額)　535,800円(予定)

なお，入学時及び在学中に納付金が改定された場合には，改定時から新たな納付金額が適用されます。

(注) １．前期分の授業料については，2027年４月１日から2027年５月31日までの間に納付してください。また，希望により，前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

２．払込済の入学料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

① 入学手続を行わなかった場合

② 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 高等教育の修学支援新制度の入学金・授業料の減免対象者が減免額を誤って納入した場合

３．入学料・授業料の納付が困難な学生のために，免除や徴収猶予の制度があります。
入学手続書類送付から手続までの期間が短いため，申請希望者は香川大学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuition-info/16198/）で事前に必要書類をご確認ください。

４．入学手続を完了した後，何らかの事情で入学することができなくなった場合は，速やかに入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は，2027年４月１日付けで入学したこととなり，授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

〔３〕入学手続書類送付先

〒760-8521
高松市幸町１番１号
香川大学教育・学生支援部教育企画課

７．個人情報の取扱いについて

〔１〕 出願書類に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報）は，入学者選抜，合格通知及び入学手続を行うために利用します。また同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料及び教育研究活動の支援と本学の発展のための活動に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。

〔２〕 入学者選抜における個人成績は，入学者選抜の他，調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析，各種統計資料作成）及び合格者の入学後の教務・学生支援関係業務にのみ使用し，本学の関係教職員以外への提供は行いません。また，調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

８．障害等のある入学志願者との事前相談について

障害がある等，受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者は，出願に先立ち，あらかじめ本学と相談してください。

また，相談は志願者本人，保護者及び担任教員等，本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

なお，相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので，出願前のできるだけ早い時期に，相談してください。

特に，次表に相当する障害等のある者については，申し出がなかった場合，受験の際，障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。次表から判断できない場合は，お問い合わせください。

区　分	障　害　等　の　程　度
視覚障害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病　　弱	・慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ　の　他	上記以外で，受験上，修学上特別の配慮を必要とするもの （例）発達障害（ＡＤＨＤ，自閉症等），パニック障害，頻尿

〔１〕相談の方法

申請書（本学所定又は本学が必要とする内容が記されたもの，健康診断書等必要書類添付）を提出することとし，必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

申請書の様式は，本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge-2/）からダウンロードしてください。

〔２〕問い合わせ先

香川大学入試課 〒760-8521 高松市幸町1番1号 TEL(087)832-1182

９．編入学後の履修について

〔１〕 編入学者は，本学部の定めるカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得しなければなりません。

〔２〕 出身学校での修得科目（単位）について，本学部が定めた認定基準により単位の認定をしますが，場合によっては，第３年次に編入しても２年間で卒業できないことがあります。

〔３〕 修業年限は２年とし，在学可能年数は６年とします。

10. ノートパソコン必携について

本学では，急速に進む高度情報化社会において ICT（情報通信技術）を充分に活用できる能力を有する人材を輩出すること，ICT を活用した先進的講義手法により教育力を強化すること，各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として，2021 年度の入学生からパソコンの必携化を実施しています。機種等の詳細については合格通知後にお知らせします。なお，特別な事情がある場合は教務課学務第二係までご相談ください。

Ⅴ　入試情報の開示について

１．入学者選抜試験における個人成績等の開示

〔１〕開示内容

試験成績の開示を希望する受験者には本人の申請により，総合点及び募集要項に記載の配点表に則した項目の得点並びに総合順位を通知します。その際には，合格者の総合点の最高点，最低点及び平均点についても併せて通知します。

ただし，合格者が10人に満たない場合は，総合点及び募集要項に記載の配点表に則した項目の得点のみを通知します。

2027年度入学者選抜試験の成績の開示を希望する者は，下記のとおり申請してください。

〔２〕申請方法

下記⑴～⑶の書類を同封し，郵送（レターパックライト）にて申請してください。**郵送以外での申請は認められませんのでご注意ください。**

⑴　本学所定の「入学試験個人成績等開示申請書」
　申請書の様式は，本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/4192/）からダウンロードしてください。

⑵　本学の受験票（コピー不可）
　受験票を添付できない場合は，運転免許証，マイナンバーカード（表面）等のコピーを添付してください。
　なお，提出された受験票等は入学試験個人成績等通知時に返却します。

⑶　返信用レターパックプラス（お届け先欄に本人の住所，氏名及び電話番号を記入したもの）
　レターパックプラスは二つに折って入れてください。

〔３〕申請書受理期間

2027年４月９日（金）から2027年５月７日（金）まで（当日消印有効）

〔４〕申請書送付先

〒760-8521　高松市幸町１番１号　香川大学入試課　TEL(087)832-1182

〔５〕申請者に対する開示時期

2027年６月中旬ごろに郵便（レターパックプラス）にて本人に通知します。

〔６〕その他

開示に要する手数料は，無料です。ただし，郵送料は申請者の負担とします。

２．入試問題の閲覧

〔１〕 本学入試問題については，香川大学入試課において閲覧できます。
閲覧時間は，９時から17時までです（土曜日，日曜日，祝日，本学の夏季一斉休業期間（８月中旬）及び12月29日～１月３日を除く。）。

○ 問い合わせ先：香川大学入試課　TEL(087)832-1182

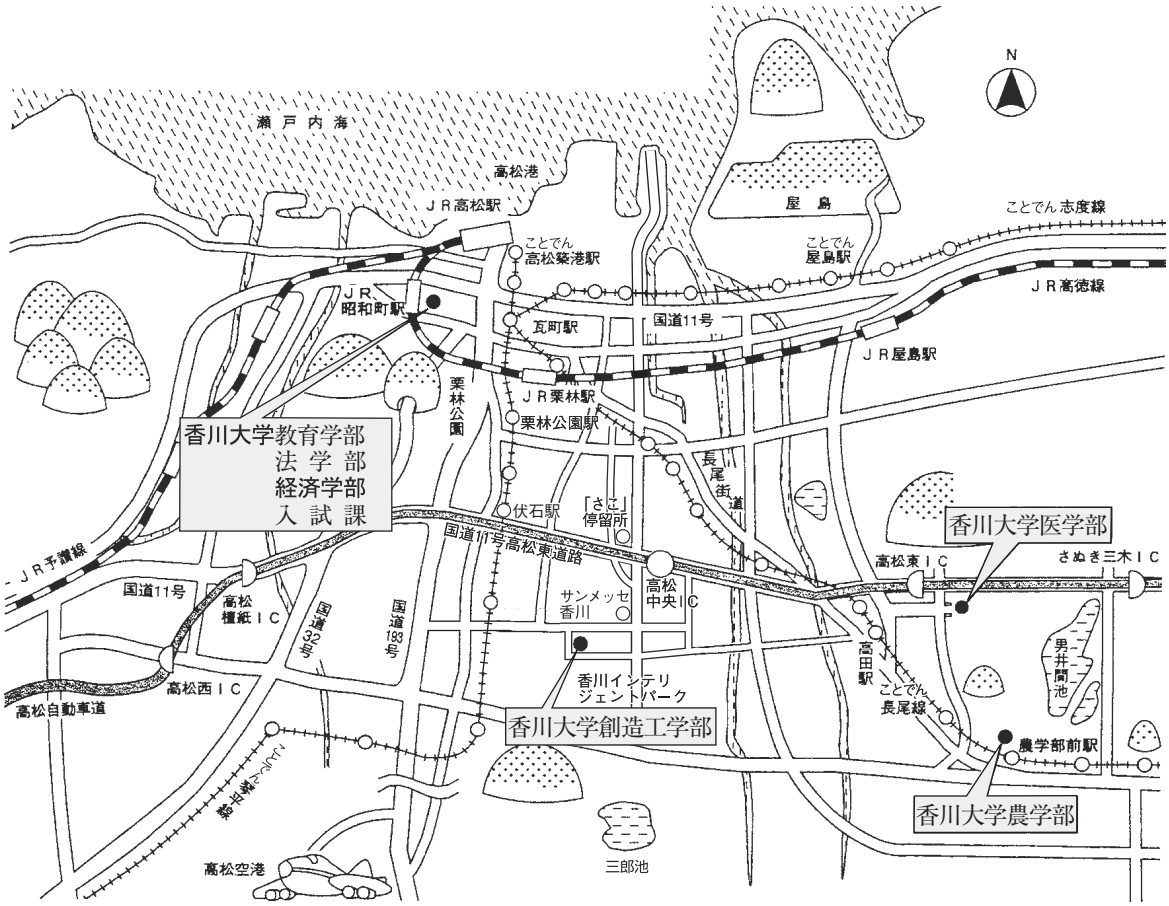
〔２〕 情報提供の一環として，本学ホームページ上においても，入試問題を公表します（原則として過去１年分のみ。）。なお，著作権許諾の関係により一部公表できない場合もあります。

○ 公表予定期間
2027年７月から約１年間（著作権許諾の関係で多少前後します。）

香川大学ホームページ　https://www.kagawa-u.ac.jp/

Ⅵ　試験場案内図

1．香川大学試験場案内図



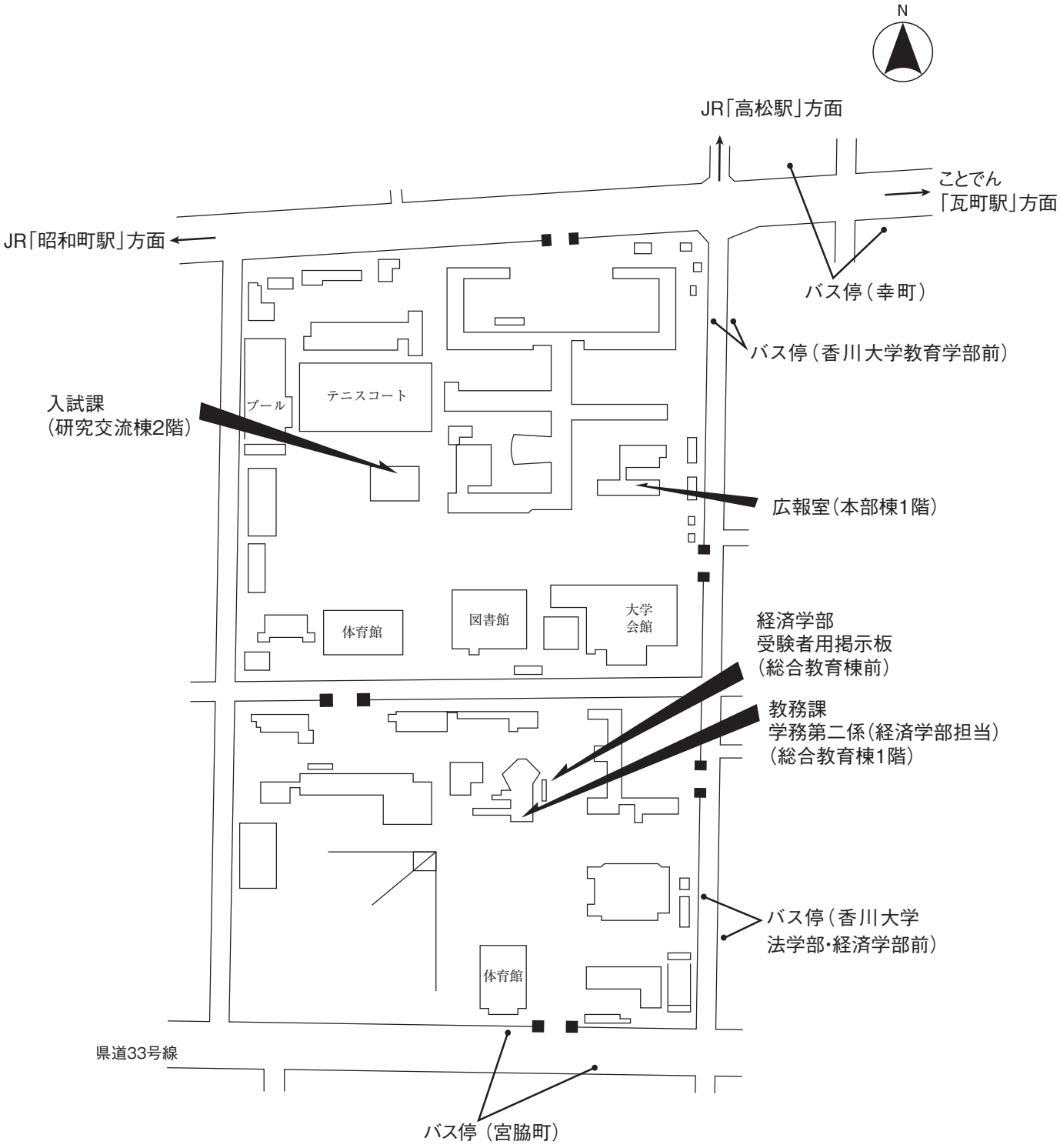
教育学部・法学部・経済学部・入試課

Ｊ　　Ｒ	高徳線「高松駅」→「昭和町駅」下車　徒歩５分（東へ250m）
バ　　ス	ＪＲ高松駅発（高松駅前①②番のりば） ことでんバス　⑪下笠居線・昭和町経由便 「高松駅」→「幸　町」下車　徒歩２～３分（西へ150m） ことでんバス　⑬下笠居線・宮脇町経由便又は⑮イオン高松線（南ルート） 「高松駅」→「宮脇町」下車　徒歩２～３分（北へ150m） ことでんバス　まちなかループバス　①東廻り　②西廻り 「高松駅」→「香川大学教育学部前」下車すぐ 「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ 高松空港発 空港連絡バス→「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車　徒歩10分～15分（西へ750m）
タクシー	ＪＲ高松駅→香川大学　約10分　約800円

（注）電車，バス等の運行時刻については，受験者各自が確認してください。また，バス路線等については，変更になる場合もあるので注意してください。

２．香川大学建物配置図

幸町北キャンパス
幸町南キャンパス（経済学部）



入 学 試 験 等 に 関 す る 照 会 先

香川大学入試課	ＴＥＬ（０８７）８３２－１１８２ 〒760-8521　高松市幸町１番１号
香川大学教務課学務第二係 （経済学部担当）	ＴＥＬ（０８７）８３２－１８１３ 〒760-8523　高松市幸町２番１号

香川大学ホームページ　https://www.kagawa-u.ac.jp/

～　不測の事態発生時等における諸連絡について　～

災害等の不測の事態が発生し，入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については，上記の本学ホームページ等でお知らせしますので，ご確認ください。

また，入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので，試験当日まで注意してご覧ください。